さかど

学校教育目標
・やさしく
・かしこく
・たくましく

笑顔いっぱい　学びいっぱい　みんなの学校　坂戸小

坂戸市立坂戸小学校
令和４年１０月号

運動会での応援
ありがとうございました！

先日の運動会は、いかがだったでしょう。週明けには「楽しい運動会ありがとうございました。」「子供たちの笑顔が良かったです。」など、連絡帳で知らせてくださる方もいて、教職員一同、とても充実感いっぱいで次の教育活動に意欲をもつことができました。

私たち大人が受けてきた昭和の教育の中での「運動会」。どんな思い出がありますか？なんとなく漠然と「運動会＝楽しい」という印象をもっていますが、本当にそうなのかしら。と思うようになりました。足が速いとかダンスがうまいとかで、運動会が楽しいと思った人もいる反面、「運動会＝お弁当の日」という楽しみ方をした人もいたはずです。なぜなら、長い時間をかけての行進の練習やダンスの練習。競技はさせてもらえず、入退場の練習。たくさんの長い時間をかけての「出来栄え」ばかりにとらわれていたダンスや痛い思いの多かった組体操など、昭和、平成と変わらずに当たり前と思ってやっていました。「運動会＝苦しい・我慢→学校はきらい」「天国のような夏休みが終わったと思ったら、地獄の運動会練習・・・」という気持ちの沈む２学期スタートだった子もいたはずです。

時代は、令和。そのうえ日常が戻りつつもまだまだコロナ禍という現状と向き合いながらの、学校生活です。せめてどの子も「運動会＝楽しい→学校は好き」という気持ちにさせたいなあと考え、２学期スタートしても一気にトップギアに入れないことにしました。運動会練習も同じです。演技は２週間で完成できる「簡単なもの」としました。子供たちには夏休み中に動画を見て予習してもらいました。これで０からのスタートではなくなります。おかげでどの子も楽しく踊ることができました。そこで先生方は「簡単だけど見映えするように」と隊形を変えたり、手に持つアイテムを大きくしたり音のなるものにしたりと工夫しました。

応援団の子供たちも、休み時間に練習を重ねながら「団を率いる」自覚を持ちました。応援合戦だけではなく、競技中の応援も見ていただけましたか？団員の声とそのほかのみんなの拍手で、運動会を盛り上げてくれました。

少々日差しの強い当日でしたが、具合の悪くなる子もなく、大きなケガをする子もなく、楽しい運動会になりました。そして、保護者の皆様に見てもらうことがこんなにも子供にとってうれしくもあり励みにもなるのだなと改めて感じさせられました。

シートを敷いて場所取りをするなど、大変な思いをすることなく「気楽に」見ている保護者の皆様の前で、子供は「笑顔で見てもらえる」という安心の中でのびのび運動会を楽しむことができたようです。特に今年は暑さも味方になって、自然と「参観場所の入れ替わり」ができていたように見えました。「坂戸小の子供全員を見てほしい」といった思いはありますが、「坂戸小学校の空気感を味わってほしい」という小さな目標は達成することができました。

これからは、秋が深まっていきます。夜の時間が長くなってきますので、どうぞ家庭での素敵な時間の過ごし方をお子様と話し合ってみてください。

10月の行事予定	※詳しくは学年だよりをご覧ください
4日(火)3年生社会科見学 情報モラル教室5，6年 5日(水)就学時検診　特4日課 6日(木)委員会活動 11日(火)非行防止教室1～4年 12日(水)PTA 運営委員会	13日(木)陸上通信記録会6年　クラブ活動 19日(水)校内授業研修会　短縮5時間 20日(木)クラブ活動 21日(金)2年生校外学習 27日(木)クラブ活動

お知らせ

＜教職員について＞

・前田文子養護助教諭が９月２６日より着任しました。よろしくお願いいたします。

＜暑さ対策から寒さ対策へ＞

・だいぶ朝晩が涼しくなってきましたが、日中は日差しが強く、汗をかきます。
子供たちの持ち物や衣服は、どうでしょうか。暑さや寒さに対応しているでしょうか。
学校での様子を聞きながら、暑さ寒さに対応できるような一工夫を話し合ってみてはいかがでしょう。

お願い

＜学校では・・・＞

子供の成長のためには、やってみて、うまくいかないことを経験したり、失敗したりすることが必要と考えています。小さな失敗は、しながら、そこから学んでいけるからです。

子供がうまくできなかったり、失敗してしょげていたりしても、そこまでの過程を十分認めてあげてください。そうすると、子供は失敗しても平気になります。必要以上に怖がりません。そして、またチャレンジするようになります。

どうしても大人は、結果を求めそれを重視しがちになります。けれども、社会に出て活躍している人は、たくさんの失敗を学びに変えた人ばかりです。

これからの未来を生き抜く力をもつ子供たちを育てる。そんな責任を学校も家庭も担っているのです。

こころ(心)

令和4年度　坂戸市立坂戸小学校
スクールカウンセラー便り　No.３
（SC　前田　俊一）

ストレスコーピングについて　①

ストレスコーピングとは、ストレス（とてもいやな気もち）から自分で自分を助ける方法です。いろいろなやり方がありますが、二つ紹介します。自分に合ったストレスコーピングを練習し、ストレスとうまくつきあっていけるとよいと思います。

「イラスト版子どものストレスマネジメント：自分で自分を上手に助ける４５の練習」（伊藤絵美、合同出版、2016）より

毛布にくるまって安心する

①自分のお気に入りの毛布の中にすっぽり入ってしまう。頭も入れて、体を小さく丸める。

②あたたかな毛布の中で、完全に守られ、なにも心配することなく、リラックスする。

③「あー、ここは安全だなあ」、「あー、ここにいると安心だなあ」と心の中でつぶやく。

④安心感をたくさん味わったら、毛布から出て、毛布をきれいにたたむ。

あえて泣いてみる

つらいときや悲しいときに、泣きたくなるのは自然な気もちです。泣きたいときは思いきり泣きましょう。人に見られるのがいやな人は、一人でいるときに思いきり泣きましょう。

①これまでにうんと悲しかったときのことやつらかったときのことを思い出す。

②それをそのまま感じていると、やがて涙が出てくるかもしれない。

③涙を引っこめずに出てくるままにする。

＊カウンセラーとの面談をご希望なさる場合は、学校の先生に申し込んでください。

スクールカウンセラーの勤務予定日

10／5	水	13:10～15:55
11／2	水	9:20～12:20